

「つつじが丘・春日丘地域ビジョン」

** 理念・目標 **

《このまちにずっと~といたい!》

～誰もが胸をはって住みたくなるまちづくり～

** まちづくり4つの基本構想 **

- [1] 安心・安全で生きがいを持って暮らせるまちづくり
- [2] 子どもたちを心豊かに育むまちづくり
- [3] 生活環境・マナーを推進するまちづくり
- [4] 心の交流を生み出す文化を核としたまちづくり



つつじが丘地域自治協議会
つつじが丘自治会
春日丘自治会
ビジョン策定・推進委員会

平成23年12月

基本構想[1] 安心・安全で生きがいを持って暮らせるまちづくり

緑に囲まれた丘陵戸建住宅地で、住民主体のボランティアやサークルによる暮らしやすいまちづくりを推進します。

実施計画-1 子ども・高齢者・車椅子の利用者が安全に通行できる歩道の改善

- 1-1) 歩道の整備及び車椅子対応の改善(交差点付近)
- 1-2) 歩道にはみ出した生け垣の剪定指導
*敷地境界線の住民への啓蒙、周知
- 1-3) 坂道に木陰・ベンチ・花壇のある「憩いと談笑の場」づくり

実施計画-2 高齢者も子どもも安心して憩える公園の整備

- 2-1) 公園の実態調査及びヒヤリングに基づく公園づくり
 - *つづじが丘14公園、春日丘4公園の近隣地域での維持管理の推進
 - ・維持管理の若年層参加としくみづくり(近隣番町合同)、きれいな公園づくり
 - *児童公園から地域コミュニケーション公園への融合改造
 - ・少子高齢化に伴い、お年寄りも意識した融合場づくり
 - *各公園の立地を活かした特徴ある手作り公園へのチャレンジ
 - ・公園の規模、立地状況にあった特徴づくり
- 2-2) 公園での楽しく健康づくりの促進
 - *18公園ウォーカリーの企画・実施
 - ・公園マップとウォーキングコース(1km~10kmの5コース程度)の設定
 - *健康促進遊具の配置
 - ・フィットネス(背伸ばし・平行棒・腹筋台・ぶら下がり・足裏ツボ等)設備の設置
 - *四季の花がある癒しの花壇の設置
 - ・花壇の設置と四季の花の植え替え促進(「ぐりーんばらんていあの会」の参加、活用)
 - *7号公園の機能分割(7号児童公園と中央グランド)
 - ・中央グランドへの運動施設新設(野球防球ネット・サッカーゴール・壁当てポート等)
- 2-3) 公園機能の充実
 - *防災公園(一時避難所)としての充実・強化
 - ・防災備品(発電機・炊出しせット・テント・電灯(電池))・水・簡易トイレ・非常道具等)の充実
 - *地域イベント拠点として活用
 - ・各種イベント(番町・ボランティア・有志・幼児・子ども等を対象とした)の実施推進
 - *幼児及びお母さん方のコミュニケーションの場づくり
 - ・子育てママの情報・コミュニケーションの場の提供(砂場の整備とおもちゃの提供)
 - *いじめや暴力からの可視化
 - ・公園樹木の剪定による道路からの可視化と公園に集う大人による見守り強化
- 2-4) 春日丘5号公園の早期開設と春日丘運動広場(公園)の新設

実施計画-3 充実した医療・福祉施設の推進

- 3-1) 住み慣れた地域で安心して受けが出来る在宅療養診断・支援の充実
- 3-2) 困ったときの医療機関ガイド手帳の充実
- 3-3) まちの保健室と保健センターとの協働
 - *健康づくりの促進
 - ・癌の早期発見毎年各種癌の専門家による講演会の開催と各種癌検診の実施
 - ・講師による健康教室の開催
 - *認知症サポーターの養成・充実
 - ・つつじが丘・春日丘自治会の班長以上の方に、毎年講習会を行い認知症理解者の養成を図る
- 3-4) 名張市への医療・福祉施設改善の働きかけ

実施計画-4 高齢者・障がいのある人が活躍でき生きがいを感じる場づくり

- 4-1) 高齢者・障がい者の支援サポーターのチームづくり
 - *民生委員、樹根の会、配食サービスボランティアグループ「つつじ」の支援協力
- 4-2) 公民館での「交流サロン・モア」の推進、屋外の散策・交流・休憩の場づくり
 - *「モア」の活用によるふれあい交流
- 4-3) イベント参加による高齢者や障がい者の生きがいづくり
 - *ミニコンサート、絵画・写真等の個展

実施計画-5 活力ある商店街づくり

- 5-1) 商店街・スーパー・ボランティア・サークル協働のイベントの開催推進
 - *オレンジ通り、春日丘1号公園周辺の利用（歩行者天国とイベント事業の発表）
- 5-2) 商店街路の美化運動の推進
 - *商店主による花壇整備、清掃活動促進

実施計画-6 自由に格安で利用できる事業（地域福祉バス・生活支援）の推進

- 6-1) 地域福祉バス事業の立ち上げによる移動支援の推進
 - *高齢者や買い物難民など利便性の向上と見守り促進
- 6-2) 生活支援事業の推進
 - *一人住まいの方などへの軽度の作業手伝い

実施計画-7 入浴設備・食堂などある高齢者福祉施設の利用推進

- 7-1) 地域福祉バスによる高齢者福祉施設への移動支援
 - *ふれあいセンター、新スーパー銭湯（24年度）、レイクホテルの湯、お亀の湯、姫石の湯…等

基本構想[2] 子どもたちを心豊かに育むまちづくり

当団地は年々ご夫婦が働く世帯が増加しており、この様な環境において乳幼児・小学生・中・高生までが心豊かに育むまちづくりを推進します。

実施計画-1 子どもたちが安心・安全に遊べる場所の整備

- 1-1) 幼児・子どもからお年寄りまで、安心して楽しく集える公園づくり
(基本構想[1]実施計画-2参照)
- 1-2) 住民による見守り強化(コアラの見守りパトロール、「子どもを守る家」の増強、空き家への目配り)

実施計画-2 子どもたちがのびのびと運動出来る場所の整備

- 2-1) 中央グランドの運動施設の充実
- 2-2) 運動出来る公園や市有地の活用

実施計画-3 気軽に乳幼児を預けることの出来る施設の推進

- 3-1) おじゃまる広場の拡充(南・北集会所の活用)
- 3-2) 保育ステーションの新設(つつじが丘、春日丘)
*つつじが丘(旧)南集会所、春日丘別館集会所の活用

実施計画-4 いじめのない人権尊重のまちづくりの推進

- 4-1) 小・中学校の見守り支援
*学校運営協議会への地域住民参画
*学校支援ボランティアの参画
- 4-2) 子どもボランティアの育成

実施計画-5 放課後子どもを預けることの出来る施設の推進

- 5-1) 公民館・集会所を活用した施設の運営
*放課後ボランティアの募集
*学童保育対象外子どもの公民館サークル等の地域文化活動への参加

実施計画-6 快適な学習環境の整備

- 6-1) 学校設備の充実と更新
*空調設備、トイレ、フェンス等の点検整備

基本構想[3] 生活環境・マナーを推進するまちづくり

ゴミ出し、犬の糞公害、迷惑駐車、スピードオーバー等生活環境とマナーの改善を推進します。

実施計画-1 車の駐車違反・迷惑駐車・スピードオーバーのない 交通マナーを遵守するまちづくり

- 1-1) 安全・安心の交通マナー啓蒙活動の推進
 - *交通安全のぼり作成と啓蒙活動
- 1-2) スピード制限・迷惑駐車の防止・交通法規遵守キャンペーンの強化
- 1-3) 交通安全部会の設置による交通安全指導
 - *夜間の路上駐車の見回りと指導
 - *所轄警察による交通安全マナーの講習会等の実施

実施計画-2 ペットの糞公害のないペットを愛するまちづくり

- 2-1) 愛犬家による糞閥活動の推進
 - *犬の糞のない、愛犬家による「フンゼロ」組織活動の立ち上げと実施
 - *市の遊休地を利用した犬専用広場(ドッグラン)の整備
- 2-2) ペットの糞公害防止の啓蒙活動
 - *公園、空き地の掲示板の設置

実施計画-3 名張市への公共下水道移管の働き掛け

- 3-1) 行政移管の実現(平成27年度)
- 3-2) ライフラインとしての公共下水道化の早期実現

実施計画-4 ゴミ出しマナーの向上

- 4-1) 地域環境推進員による啓蒙活動

基本構想[4] 心の交流を生み出す文化を核としたまちづくり

地域に密着した文化は、人と人の心の交流の原点であり、このまちにずっとといたいという、郷土愛を生み心の拠り所となります。つつじが丘・春日丘は、新興住宅地であり地域に根差した伝統的な文化は殆どないため、地域に密着した文化そのものを創り出し育成します。

また、近畿大学工業高等専門学校を迎えたことを契機に、地域市民として交流参画の要と技術交流の体験の紹介を推進します。

実施計画-1 文化の創生・育成事業の実施

1-1) 色々な手作り文化の創生と育成

- *高齢者が持っている技術・技能を次世代に伝授しながら文化を作り上げる。
(夙づくり、竹細工、手芸、折り紙…等)

1-2) お祭り文化の創生と育成

- *地区で、神輿や山車などの製作と競い合い、つつじが丘音頭、ヒップホップダンス、和太鼓、カラオケ大会、大縄跳び大会、ご当地「グルメ」の開発(つつじが丘のカレー亭カレーなど)、ご当地「マスコット」や「ゆるきゃら」開発

1-3) 地域交流の文化の創生と育成

- *神輿や餅つきなど地区の祭り文化、公民館サークルによる子どもたちへの文化を継承、イベントによる文化活動の発表、健康に関する文化や食文化、つつじが丘・春日丘合同祭りの開催

1-4) 文化の創生にサポーター(ボランティア)の発掘と活用

- *有償ボランティア事業へ参画

1-5) (仮称)「なばりヨサコイソーラン」の先駆的実施、普及

- *舞皇(皇學館大學)の指導による定着

実施計画-2 ふれあう「場」の創生事業の実施

2-1) ふれあう環境づくり

- *おじゃまる広場の拡充
- *各種サークル発表会、つつじが丘と春日丘の共催の催し

2-2) ふれあう場所の再生・利用・活用

- *各種集会所(公民館、自治会館、集会所)の活用
- *商店街の空き店舗の活用
- *空き地の再生・活用
 - ・家庭菜園講座と収穫体験
- *公園の再生・活用
 - ・市(いち)の開催、地域独自のゆるきゃら(マスコット)等の製作展示、おじゃまる広場の屋外版
- *国津の杜ふるさと館、はぐくみ工房の利用
- *国津神社の祭事参加、農林業の行事体験

実施計画-3 地域文化の活用事業の実施

3-1) 地域団体との協働

- *近大高専の地域市民としての交流参画要請と技術交流と体験の紹介
- *つつじが丘幼稚園、つつじが丘小学校、南中学校行事の支援・参画
- *国津園、和嬉会愛への支援・協力

3-2) 行政との協働(公共機関、市立病院など)

- *名張市役所、消防署、警察署による安全訓練(防災、防犯、交通マナー等々)
- *外部来訪者支援ボランティア活動の活性化施策と市民の参加促進

実施計画-4 地域で優れた文化・知識を持つ方の発掘とネットワークづくり

4-1) 公民館での個展の発表、講演会の開催

4-2) 他地域からの参画要請、交流

編集後記

つつじが丘・春日丘地域の住民の皆さんへ

名張市は「新しい公」を基本理念に掲げた「まちづくり」として、

- ・平成16年3月:「理想郷プラン」を決め、「地域ビジョン」を策定
- ・平成18年1月:住民自治の確立を目指し「自治基本条例」と「ゆめづくり地域予算制度」を施行
- ・平成21年4月:地域の活性化と都市内分権の推進を目的とした「地域づくり組織条例」を施行
- ・平成21年4月:これを受けてつつじが丘地域(つつじが丘・春日丘)では「つつじが丘地域自治協議会」が発足
- ・平成22年4月:15地域に地域担当職員の派遣、地域ビジョンの策定スタート(策定完了:平成23年末迄に)
地域ビジョンは、地理的な特性や自然、歴史・文化、人材等の地域資源や課題(問題)の解決方法や将来像を実現する方法等を考え、地区の全住民が協力して行う必要があり、つつじが丘地域においては、つつじが丘地域自治協議会でビジョンづくりに取り組むことになり、平成22年度に「ビジョン策定委員会」を立ち上げ、名張市地域担当職員の指導を受けながら、「一般、子育て、小・中・高校生、高齢者」を対象にして、皆さんにアンケート調査を行い、多くの課題を頂き上位15項目の課題を抽出し、皆さんにご報告をさせて頂きました。

平成23年度は、委員会を3つにグループ分けしてそれぞれに討議し、それを持ち寄り討議を重ねた結果、上位15項目の他必要な項目を追加し、つつじが丘・春日丘地域の5年、10年、20年…先を考え、これらを4つの基本構想に纏め、理念・目標としてこのまちにずっといたい!を掲げた「つつじが丘・春日丘地域ビジョン」を策定し、平成23年12月末に名張市へ提出しました。名張市はつつじが丘・春日丘を含めた15地域のビジョンを受けて、平成24年度に組織改正(地域部の設置、専任スタッフの配置)と地域ビジョンの推進(市・地域の役割及び協同事業提案、提案内容の審査、選定、予算要求等)を行い、議会の承認を経て平成25年度より予算化され実施される予定になっています。

私たちの地域では、これからこのビジョンを推進するために、現委員はもとより広く皆さんに推進委員になって頂ける方を募集し、皆さんと一緒に直ぐに取り組めるテーマから実現に向けて着手し、「より良いまちづくり」を目指したく思っています。そのためにも皆様のご協力とご支援を頂きたくよろしくお願いします。

尚、ビジョンの推進は、この資料の基本構想に基づき行って参りますので、保存版として大切に保管して頂きますようお願いします。

つつじが丘地域自治協議会 会長 飯島幸雄
ビジョン策定・推進委員会委員長 古川高志

